

連載 ツールマニアックス
TOOL MANIAX

第6回

インスペクターの道具について語ろう!

スペシャル版 株式会社イング -後編-

インスペクターの道具にまつわる偏愛と発見! 何気なく使っている道具に対するこだわりをたっぷり
 と語っていただくツールマニアックス。

第6回は前回に引き続き賛助会員である株式会社イングさんの新製品・マルチ点検カメラについて
 お伺いしました。

話し手 株式会社イング 東京営業所 営業部 永木 亮典さん
 聞き手 ホームインスペクターズジャパン編集部 三原 広聡

女性インスペクターにも扱いやすい点検カメラを!の思いで開発

編集部 前はイングさんの開発理念や「たかみ君6」についてお話を聞きました。元々高所点検作業を安全にという要請で生まれた「たかみ君」ですが、その代償として重量増と価格というウィークポイントを持っていたというお話でしたね。

永木氏 この「マルチ点検カメラ」は三脚を廃して手で支えながら地面に立てて使う機材となります。先端にカメラを装着しており、二階建て戸建て住宅や集合住宅の高所を点検するのに十分な長さを確保しつつ、軽量で扱いやすいように設計しました。最下段のポールでも缶ジュース程度の太さで女性も扱いやすくなっています。カメラ操作やデータの転送はカメラに付随するアプリを介してお手持ちのiPadやスマートフォンで行います。細くて軽い分たわみの問題が出てくるのですが、一部のポールをカーボン素材にするなどの工夫で解決しています。また、弊社では安全性、安定性を重視して搭載するカメラの重量などにも基準を設けています。

永木氏 はい。今後は女性の方もどんどん活躍する時代になっていきますし、それに合わせてブラッシュアップしていこうと開発されたのが「マルチ点検カメラ」です。女性でも手持ちで操作できる軽量で操作性も兼ね揃えた高所点検用カメラとして開発しました。

編集部 その「マルチ点検カメラ」なんですけどイングさんのホームページには該当するページが見当たりませんでした。

永木氏 すみません。社内でもホームページに掲載するか否かは議論になりました。見た目にはシンプルな商品なので、形だけ真似しようと思えば模倣できるアイテムです。ただ、本当に安全かつ確実に使えるものにするにはたくさんの工夫が要りますし、それをひとつひとつ行っている製品なので、きちんとご説明して販売しようという流れになったのです。WEBでは値段だけで判断される事もありますので。

編集部 確かにそうですね。前号のインスペクターズブートキャンプでは講師のインスペクターさんも同様の機材を使っていたらっしゃいました。この「マルチ点検カメラ」の特徴を教えてください。



▶ マルチ点検カメラ使用例

編集部 三脚がない分、より狭い場所でも活躍しそうですね。重量も1,850gと軽くシンプルで収納時は持ち運びも楽そうですね。肝心のお値段はどのくらいになるのですか?

永木氏 かなり抑えることができました、だいたい13万円(「カメラ無し」の場合)くらいです。ただしWi-Fi機能付きのデジタルカメラと操作端末(iPadやスマホ)はお客様に別途ご用意いただく必要があります。インスペクターの皆さんはすでにお手持ちの機材も多いと思いますので大丈夫かと。

編集部 手持ちの機材と言えば、最近はインスペクションにスマートフォンを使う方も増えているのですが、カメラ部分はスマホでも大丈夫ですか?

永木氏 私の知る限りでは残念ながらカメラメーカー専用のアプリを介して遠隔操作が可能となりますので難しいと思います。点検で重要な機能として大切なのが光学ズームです。前回「たかみ君」の回にご説明したように、屋根の全体を撮影してから細部を拡大してチェックするとなると最低でも光学10倍ズームがないと厳しいというのが私どもの結論です。光学ズームが弱いと点検箇所が増えてしまいます。大きく遠目から屋根を撮影し、一枚の写真を拡大して点検を行う事で大幅に作業時間が短縮できます(通常屋根形状であれば平均2~4カ所での撮影で完了します)。弊社がデジタルカメラ装着にこだわる理由でもあります。

現場を知り尽くして、さらなる進化

永木氏 最近この「マルチ点検カメラ」のオプションとして、カメラの角度を手元でリモート操作できる雲台を発売しました。これまではカメラの角度を変えたいときは一旦ポールを縮めて手元で操作するか、ポール自体の角度を変える事で事足りましたが、「屋根以外の点検も行いたいのでカメラ角度が遠隔で変えられる装置があると大変便利になる」とのお声を多数いただき、無線雲台を開発いたしました。この「無線チルト雲台」を装着するとポールを伸ばしたまま、手元でカメラの角度を変えることができます。

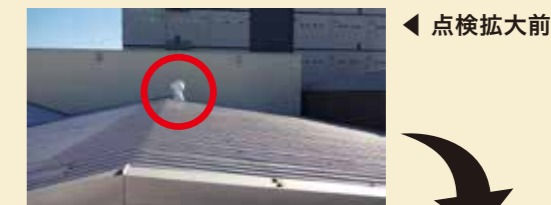


▲ 無線チルト雲台本体

無線チルト雲台カメラ装着時 ▶

編集部 なるほど。あくまで調査の精度を担保するためのデジカメ推奨なのですね。

▶ デジタルカメラ装着時



◀ 点検拡大前



▶ 点検拡大後(光学10倍)

編集部 会報誌の広告に載っている「無線チルト雲台」。何かと聞いていましたがリモコン式のカメラ台座だったのですね。インスペクション業務は時間が限られている場合も多いですし、操作が効率化できることは大きなメリットです。こちらはどのくらいするのですか?

永木氏 「無線チルト雲台」単体での販売はしていないのですが、「マルチ点検カメラ」本体にプラス9万円のオプション装備品となっています。

編集部 本体とセットで揃えると22万円(「カメラ無し」の場合)といったところですね。屋根のインスペクションはオプションとされている会員さんも多いですので、予算的にも目途が付きやすいのではないのでしょうか。「女性インスペクターでも使いやすく」と考慮されている製品は男性でも扱いやすいものです。作業の安全性や効率を上げてくれるというのは、目に見えない要素ですがとても重要だと感じました。

永木氏 どんどん使っていただいで、実際の使用感などをフィードバックしていただけると嬉しいです。

編集部 前回から2回にわたってありがとうございました。